

# 足立区創業支援施設 「記入要領」

足立区 産業經濟部  
企業経営支援課 創業支援係

**書類の記入・提出にあたって**  
記入漏れや提出漏れがないよう、必ずお読みください。

- ・ 書類は、必ず所定の様式を使用してください。
- ・ パソコンを使用する場合は、10p以上の文字を使用してください。
- ・ 所定の枠内に収まらないときは、適宜枠を拡大して記入していただいて結構です。
- ・ 「企業名」欄について、未創業で企業名が確定していないときは、「(予定)」と付記してください。
- ・ 提出書類は次のとおりです。不足がないよう、十分に注意してください。

**1 申請書等 各7部提出**

- ① 様式第1号 足立区創業支援施設 利用申請書
- ② 様式第2号 情報開示承諾書
- ③ 様式第3号 事業計画書
- ④ 様式第4号 資金計画（未創業の場合のみ提出）
- ⑤ 様式第5号 収支計画
- ⑥ 代表者の履歴書

**2 添付書類 各1部提出**

- ① 履歴事項全部証明書  
※ 個人の場合は開業届の写し、未創業の場合は住民票
- ② 直近3期分の「貸借対照表」「損益計算書」「販売費及び一般管理費の内訳」  
※ 個人の場合は直近3年分の確定申告書、未創業の場合は不要
- ③ 直近の法人住民税納税証明書  
※ 個人の場合は、個人事業税納税証明書。未創業若しくは創業後に納税時期を迎えていない場合は、直近の住民税納税証明書
- ④ 会社案内または事業内容のわかるもの  
※ 未創業の場合は不要

# [記入要領]

(様式第1号)

令和 年 月 日

## 足立区創業支援施設 利用申請書

(提出先)

足立区長

※申請時に法人登記が済んでいない場合は、法人設立予定でも個人名で申請します。

住所(所在地)

企業名

代表者名

電話番号

足立区創業支援施設の利用について、下記のとおり申請します。

※最長2年間(募集要項にある1年間の延長期間は含めない。)

記

入居希望日	令和 年 月 日
希望する利用期間	利用開始の日から 年 月
利用予定人数	人
希望順に部屋番号を記入 して下さい。	第1希望 _____号室
	第2希望 _____号室

(注) 申請者が法人の場合は、住所は本店住所、氏名は法人名及び代表者の役職・氏名を記入してください。

# [記入要領]

(様式第2号)

令和 年 月 日

## 情報開示承諾書

(提出先)

足立区長

住所(所在地)

企業名

代表者名

電話番号

※ 利用申請書に同じ

足立区創業支援施設の利用申請にあたり、「足立区創業支援施設入居者選考委員会」の委員に、応募書類一式に記載した情報を開示することを承諾します。

(注)

- 申請者が法人の場合は、住所は本店住所、氏名は法人名及び代表者の役職・氏名を記入してください。
- 提出された書類は、入居者選考以外の目的で使用することはありません。

# [記入要領]

(様式第3号)

## 事業計画書

令和 年 月 日

住所（所在地）

企業名

代表者名

事業概要

※事業内容を分かりやすく記入してください。  
スペースが足りない場合は、別紙を添付するなど、適宜対応してください。

※個人の場合は記入不要

従業員数・資本金

○（○）名

○○○万円

設立日（法人） ※

年 月 日

開業日（個人） ※

年 月 日

創業予定時期（未創業）

年 月頃

連絡先

電話

F A X

Eメール

担当者

※該当する項目について  
年月日を記入。

※ 個人事業主を経て、法人を設立した場合は、法人・個人の両欄に記入してください。

# [記入要領]

全員が記入

(様式第3号)

## 創業の動機・目的

※ 「学校で学んだ技術を活用した製品を販売したい。」、「自分で考えた事業モデルを実践したい」、「子供のころからの夢だった仕事をしたい」、「社会貢献できる会社を創りたい」など、創業の動機・目的を記載してください。

(例)

大学で〇〇〇システムについて学び、現在の会社に就職しました。

常々、〇〇〇システムをもっと安価で提供できないかと考えていましたが、それを実現できる事業モデルを同僚と一緒に考案しました。そこで、そのモデルに基づく事業を展開し、企業における〇〇〇システムの普及と活用に寄与したいと考え、会社を立ち上げることにしました。

## 利用希望理由

【事業内容と創業支援施設との関連性があれば、併せて記入してください。】

(例)

- ・ 使用料が安いので、初期投資を節約できる。
- ・ 区内には、顧客となりうる中小企業が多いので、営業活動を行ううえで立地条件が非常に良い。
- ・ 都内全域を営業範囲と考えているので、駅に近いことが魅力である。

# [記入要領]

全員が記入

(様式第3号)

事業が区内産業の活性化に寄与する点について、記入してください。

※「区内から人を雇用するつもりである」、「区内〇〇業各社と取引をしたい」、「将来的に区内に複数事業拠点を設置する計画である」、「関係取引企業が足立区に移転する」など、足立区内の産業活性化に寄与する点を記載してください。

(例)

足立区は〇〇分野の事業者が少ないため、当社の事業展開を機にこの分野の関連産業が増えれば経済の活性化につながると考えています。

# [記入要領]

(様式第3号)

全員が記入

経営陣の職歴を記入してください。		
氏名：		
年月(自)	年月(至)	事項
		※最終学歴から現在までを記入してください。
氏名：		
年月(自)	年月(至)	事項
氏名：		
年月(自)	年月(至)	事項
<b>株主構成</b> 【株主全員の氏名(法人の場合は法人名)を記入してください。】		
※持株数等、名称以外の項目は記入しない。		



# [記入要領]

(様式第3号)

全員が記入

事業内容について、顧客層、販売価格、販売方法、生産・仕入方法、原価、組織体制等に言及して、具体的に記入してください。

- ・顧客層
- ・販売価格
- ・販売方法
- ・生産・仕入れ方法
- ・原価
- ・組織体制

※上記のように項目ごとに記入。上記以外の項目を設けても可。  
顧客層であれば、「都内の中小企業を顧客層とする。」のように記入。

## 事業協力者

【資金援助・経営アドバイザーなど協力者がいる場合のみ記入してください。】

氏名

住所

勤務先

勤務内容等

- ・法人を対象とした経営コンサルタント業務
- ・〇〇コンサルタント代表

※事業協力者の現在の仕事内容等を記入

# [記入要領]

(様式第3号)

全員が記入

事業の特徴、強みについて、具体的に記入してください。

※自社の経営方針、製品の特徴、技術力、販売網、市場動向などについて、自社の強みを記入してください。箇条書きで構いません。

(例)

- ・ 自社の製品は、〇〇という特徴を備えており、この特徴は他社製品にはない自社独自のアイデアである。
- ・ 自社の製品は、〇〇という新技術に基づくものであり、市場成長性が高いと期待されている製品である。
- ・ 自社は、〇〇という独自技術とそれを製品化するマシンを有しており、質の高い製品を市場に提供できる。
- ・ 自社が提供するサービスは、すべて自社社員が直接販売するので、価格的にも他社より安価で、トラブル等にも即応できる。
- ・ 製品の販売にあたっては、〇〇株式会社の全国ネットを活用できるため、販売コストを抑えることができる。
- ・ 最近、〇〇に対する需用が急速に高まっているが、自社のサービスはこの需用に十分応えうる内容となっている。

# [記入要領]

(様式第3号)

全員が記入

募集要件では、「施設の利用期間終了後、足立区内において引き続き事業を行おうとする意思を有すること。」としています。区内で事業を展開していくためにどのような対応を考えているか、具体的に記入してください。

※ 事業展開する場所や、販売戦略などについて、記入してください。

箇条書きでも構いません。

# [記入要領]

(様式第4号)

未創業の方のみ記入

## 資金計画

※事業立上げに必要な資金 運転資金 6カ月分

必要な資金の内容			資金の調達		
項目	金額	項目	金額		
<b>【設備資金】合計</b>		<b>37(①)</b>	<b>自己資金(預貯金、退職金等)</b>	<b>200(⑦)</b>	
内訳	保証金(使用料・共益費除く)	12	預貯金	100	
	機械	10	退職金	100	
	備品(パソコン・デスク等)	10			
	その他(登記費用等)	5			
<b>【運転資金】合計(③+④+⑤)</b>		<b>595(②)</b>	<b>借入合計 500(⑧)</b>		
<b>【原価】</b>		<b>60(③)</b>	足立区創業資金融資	500	
内訳	商品・材料仕入	30	内訳	日本政策金融公庫制度融資	0
	外注費	30		東京都制度融資	0
	その他	0		金融機関一般借入	0
<b>【販売管理費】</b>		<b>493(④)</b>	<b>その他(親族からの援助等) 50(⑨)</b>		
内訳	人件費		親族からの援助	50	
	・代表者、役員報酬(1人)	180	内訳		
	・家族従業員(0人)	0			
	・雇用従業員(2人)	240			
	・パート従業員(0人)	0			
使用料(25,000円/月)		15	<b>調達資金合計(⑦+⑧+⑨) 750(⑩)</b>		
共益費(15,000円/月)		9	借入金返済計画 (返済年限、利率等について記載) (例) ・返済期間: 7年元利均等返済 ・利率: 3% ・返済額: 6万円/月		
光熱水費・通信費等		9			
消耗品費		10			
広告宣伝費		30			
その他		0			
<b>【その他運転資金等】</b>		<b>42(⑤)</b>			
内訳	借入金返済	36			
	借入金利息	6			
	その他	0			
<b>必要資金合計(①+②)</b>		<b>632(⑥)</b>		<b>⑥ ≤ ⑩</b>	

※金額は6カ月間の合計額を記載してください。

※金額欄の単位は万円としてください。

※必要な項目について金額等を記入してください。記入漏れに注意。

# [記入要領]

全員が記入

(様式第5号)

## 収 支 計 画

項 目	前3期実績			当期見込	翌年見込	翌々年見込
	(1期)	(2期)	(3期)			
売上高 ①						
売上原価 ②						
販売費・一般管理費 ③						
営業利益 ④ [①-②-③]						
営業外収益 ⑤ 受取利息等						
営業外費用 ⑥ 支払利息等						
経常利益 ⑦ [④+⑤-⑥]						
特別利益 ⑧						
特別損失 ⑨						
税引前当期利益⑩ [⑦+⑧-⑨]						
法人税・住民税⑪						
当期利益 ⑫ [⑩-⑪]						
前期繰越利益 ⑬						
当期未処分利益⑭ [⑫+⑬]						

※・未創業の場合は、この欄は記入不要。  
 ・既創業であっても、記入できない項目、不明な項目は「×」を記入。  
 ・「0」の場合は、必ず「0」を記入。

※・既創業、未創業とも要記入。(未創業の場合は①~⑦のみ記入。)  
 ・目標値の記入で構わない。  
 ・「×」、「0」の記入については、左記に同じ。

※既創業者は前3期分を添付書類の財務諸表より転記し、まだ決算期を迎えていない既創業者及び未創業者は当期見込から翌々年見込について記入してください。

# [記入要領]

(様式第5号)

全員が記入

収支計画の算出方法について、具体的に記入してください。

※ 当期、翌年、翌々年の収支について説明してください。

(例)

当期：売上高	A製品@〇〇円×〇〇個=〇〇円	
	B製品@〇〇円×〇〇個=〇〇円	計〇〇円
製品原価	A製品@〇〇円×〇〇個=〇〇円	
	B性品@〇〇円×〇〇個=〇〇円	計〇〇円
販売経費		〇〇円
営業利益 (売上高－販売原価－販売経費)		〇〇円
翌年：当期と同様に記載		
翌々年：当期と同様に記載		

販売予定先又は販売ターゲットとなる市場について、具体的に記入してください。

※既に開拓している販売先、今後想定している販売先、販売ターゲットについて記入してください。

(例)

- ・ 区内中小企業を主な販売先として想定している。
- ・ 区内中小企業の多くと取引があり、今後販売先を都内全域に拡大する予定である。
- ・ 20代、30代の男女を販売ターゲットとして製品開発を行っている。